

S I D R

滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第 5 巻第 52 号

第 52 週 (12 月 26 日 ~ 1 月 1 日)

発行年月日:平成18年(2006年) 1月 6日

発行 : 滋賀県衛生科学センター内
滋賀県感染症情報センター

電話 077-537-3051 FAX 077-534-3936

今週の感染症動向

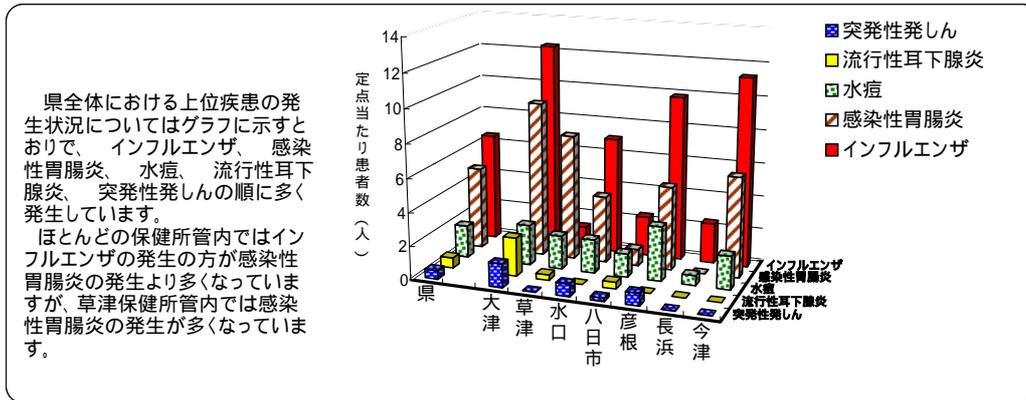
インフルエンザの発生は増加傾向 性感染症定点および基幹定点における疾病別発生状況

定点把握の対象となる5類感染症の発生状況は、先週(12月19日~12月25日)の報告数よりやや多くなっており、特に、インフルエンザの報告数は先週より倍増しています。また、感染性胃腸炎の報告数は2週連続して減少しています。

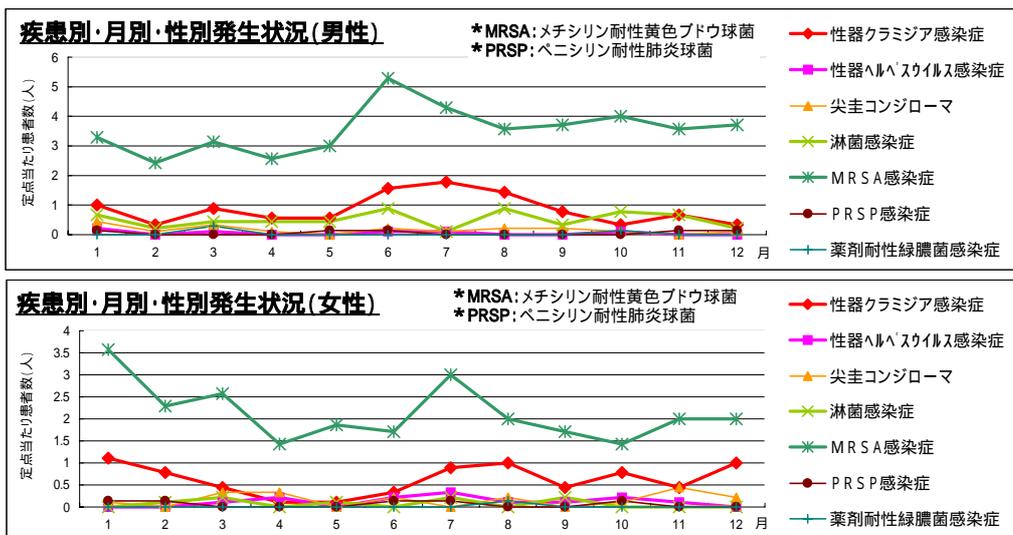
今週、増加を示した疾患はインフルエンザ、水痘、伝染性紅斑、突発性発しん、ヘルパンギーナおよび流行性角結膜炎です。減少した疾患は咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎および手足口病です(詳細については、疾病別定点当たり患者数のグラフ参照)。

今週は全数報告感染症の届出はありませんでした。

上位5疾患の保健所管内別発生状況(定点把握対象5類感染症、第52週、定点当たり患者数)



性感染症定点および基幹定点における疾病別発生状況(平成17年1月~12月)



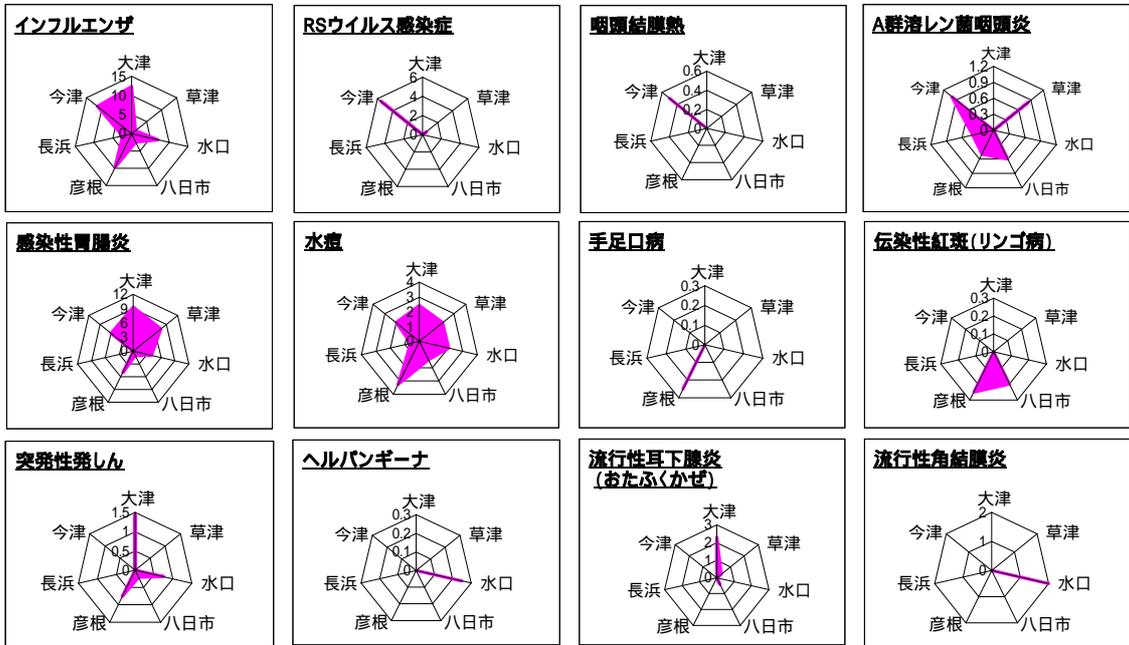
性感染症定点および基幹定点における疾病別発生状況を先月と比較すると、性器クラミジア感染症、MRSA感染症は増加し性器ヘルペスウイルス感染症、尖圭コンジローマ、淋菌感染症等は減少しています(詳細については性感染症定点および基幹定点における疾病別発生状況のグラフ参照)。

また、各疾患の月別・性別発生状況は上記のグラフのとおりです。男性では性器クラミジア感染症および淋菌感染症がかなり減少し、女性では性器クラミジア感染症がかなり増加しています。

(2)疾病別・保健所管内別発生状況(第52週、12/26~1/1)

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)								疾患別発生状況 (県全体)
	県	大津	草津	水口	八日市	彦根	長浜	今津	
インフルエンザ	6.51	12.36	1.30	7.00	2.38	9.86	2.40	11.30	
RSウイルス感染症	0.43	0	0.50	0	0	0	0	5.50	
咽頭結膜熱	0.03	0	0	0	0	0	0	0.50	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.42	0	0.83	0	0.60	0.50	0.40	1.00	
感染性胃腸炎	4.94	9.29	7.50	4.00	1.00	5.00	0	6.00	
水痘	1.94	2.43	2.00	2.00	1.40	3.25	0.60	2.00	
手足口病	0.03	0	0	0	0	0.3	0	0	
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.06	0	0	0	0.20	0.25	0	0	
突発性発しん	0.52	1.43	0	0.75	0.20	0.75	0	0	
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	
風しん(三日はしか)	0	0	0	0	0	0	0	0	
ヘルパンギーナ	0.03	0	0	0.25	0	0	0	0	
麻しん(成人麻しんを除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.61	2.29	0.33	0	0.40	0	0	0	
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性角結膜炎	0.29	0	0	2.00	0	0	0	0	
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	
成人麻しん	0	0	0	0	0	0	0	0	

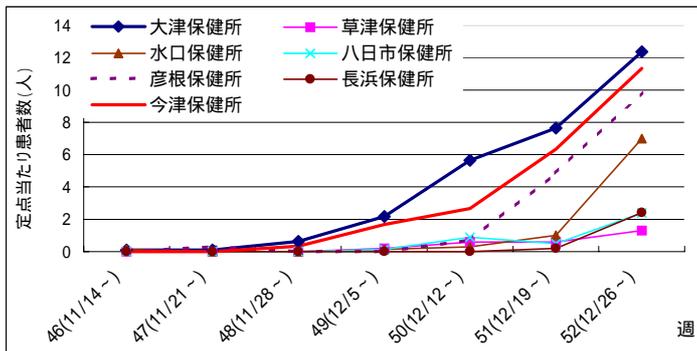
疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)



今週の発生状況:

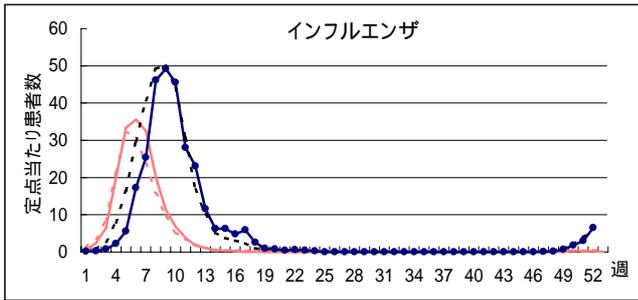
保健所管内別の定点当たり患者数は上記のグラフのとおりです。A群溶レン菌咽頭炎および感染性胃腸炎は各保健所とも先週より減少しています。水痘については草津、八日市および彦根で先週よりかなり多くなっています。また、突発性発しんについても大津でやや多くなっています。

インフルエンザの保健所管内別発生状況(第46~52週、11/14~1/1)

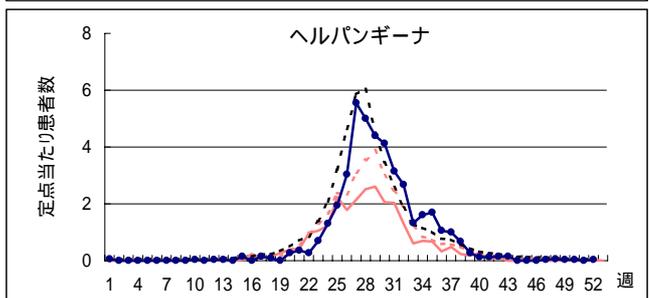
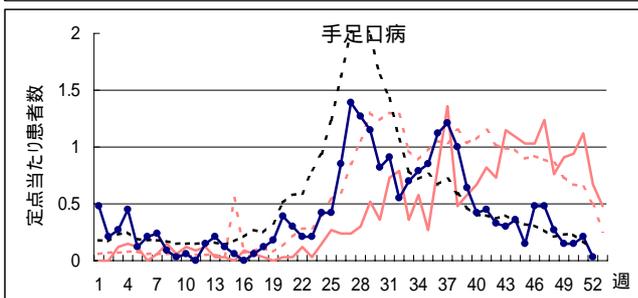
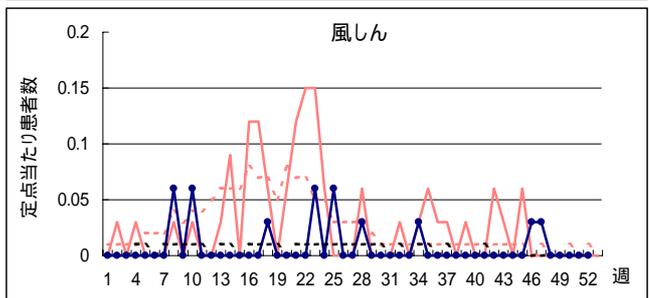
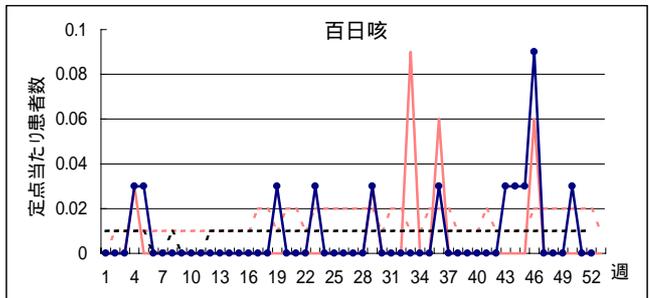
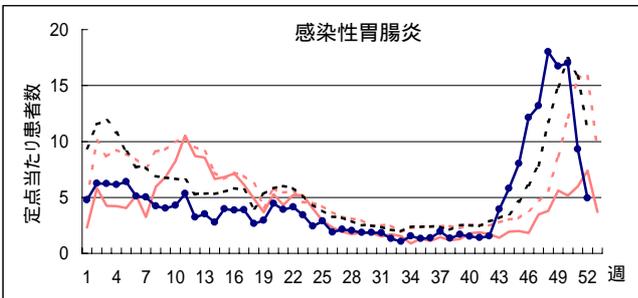
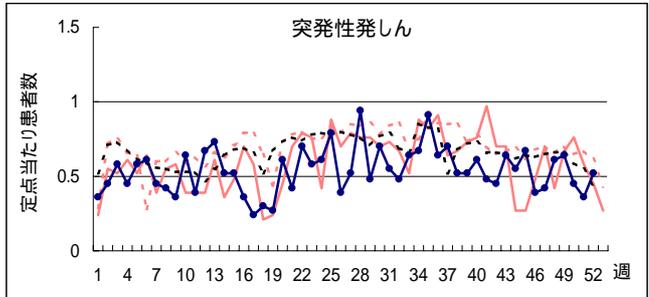
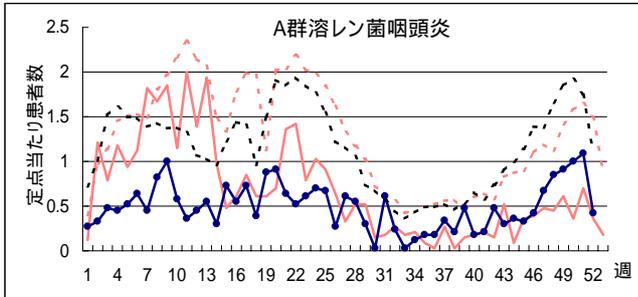
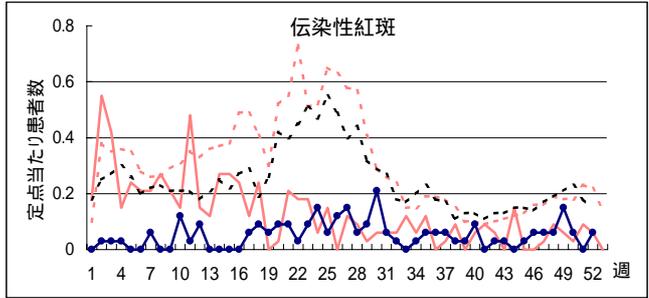
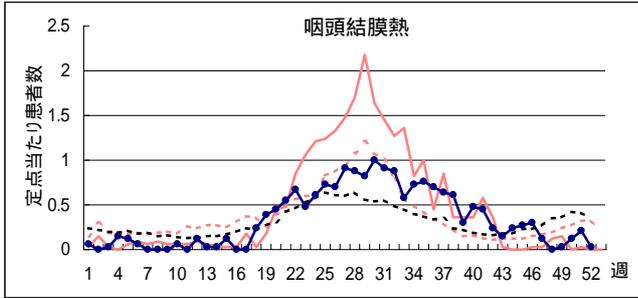


第46~52週の発生状況についてみると、各保健所管内とも先週より増加しており、特に水口保健所管内で急増しています。また、大津および今津保健所管内では先週に引き続き増加傾向を示しており、定点当たり患者数はそれぞれ12.36、11.33と非常に多くなっています。今後の発生状況に注意する必要があります。

疾病別定点当たり患者数(平成17年第1週～第52週、H17.1.3～H18.1.1)

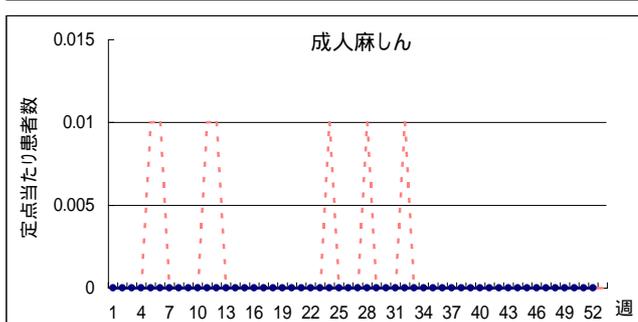
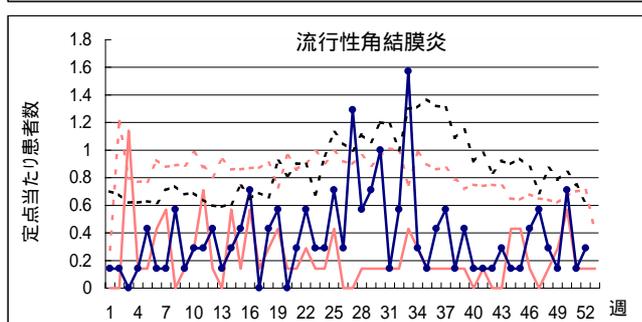
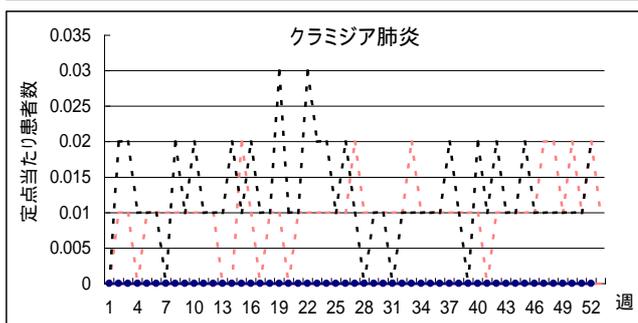
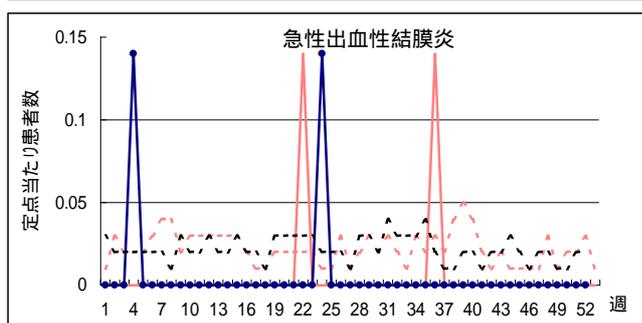
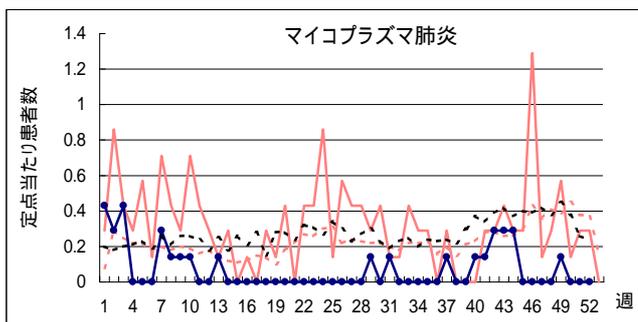
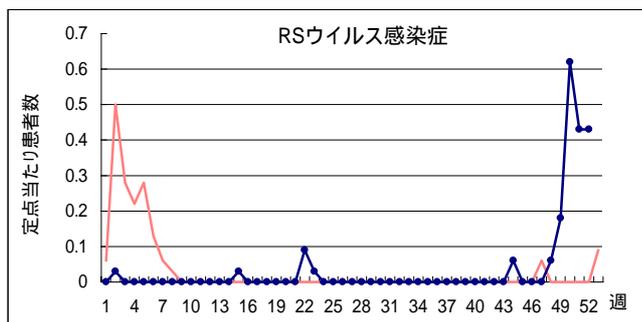
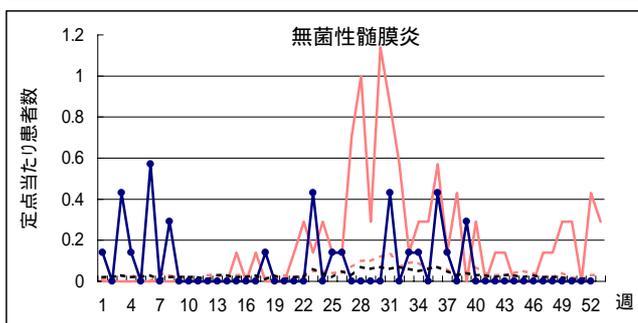
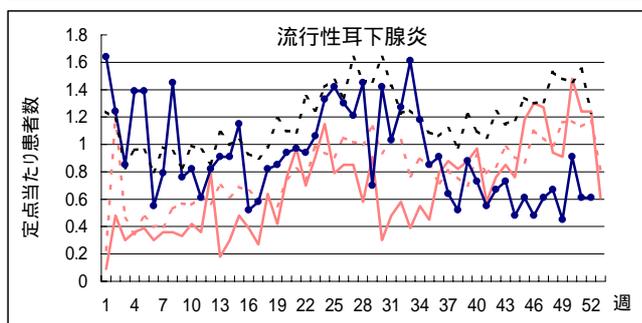
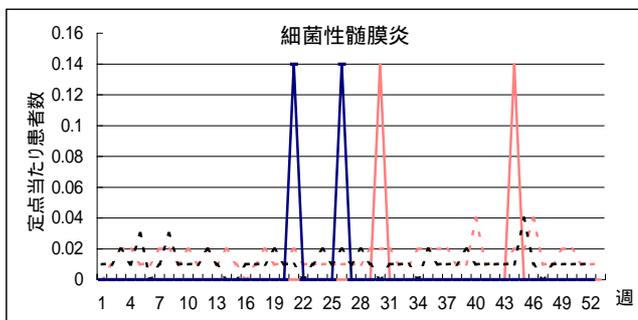
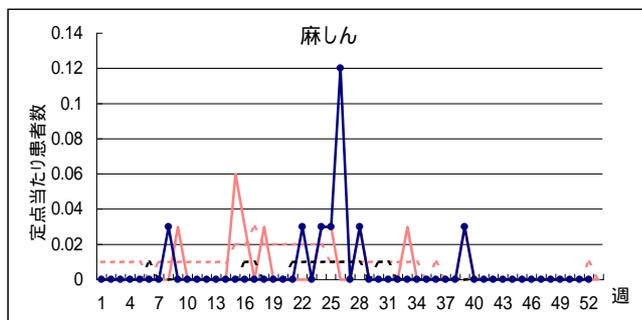


H16 { 滋賀 (solid red line)
 全国 (dotted red line)
 H17 { 滋賀 (solid blue line with dots)
 全国 (dotted blue line with dots)



疾病別定点当たり患者数(平成17年第1週～第52週、H17.1.3～H18.1.1)

H16 { 滋賀 ———— 全国 }
 H17 { 滋賀 —●—●— 全国 - - - - - }

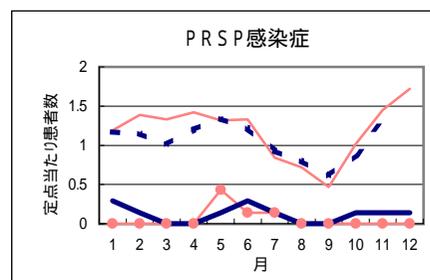
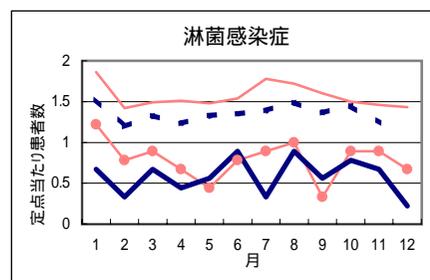
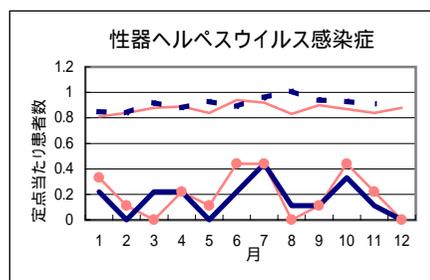
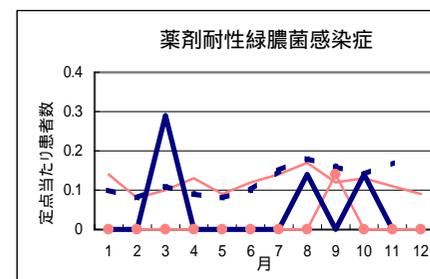
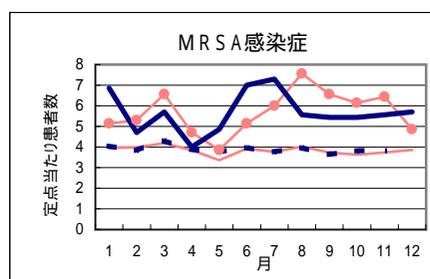
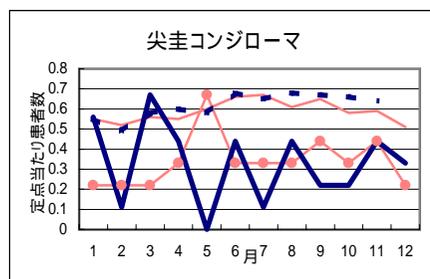
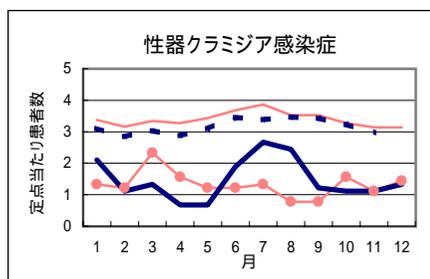


性感染症定点および基幹定点における疾病別発生状況(滋賀県)

12月報 (集計期間:平成 17年 1月~12月)

戻る

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
性器クラミジア感染症	罹患数	19	10	12	6	6	17	24	22	11	10	10	12	159
	定点当たり	2.11	1.11	1.33	0.67	0.67	1.89	2.67	2.44	1.22	1.11	1.11	1.33	1.47
性器ヘルペスウイルス感染症	罹患数	2	0	2	2	0	2	4	1	1	3	1	0	18
	定点当たり	0.22	0	0.22	0.22	0	0.22	0.44	0.11	0.11	0.33	0.11	0	0.17
尖圭コンジローマ	罹患数	5	1	6	4	0	4	1	4	2	2	4	3	36
	定点当たり	0.56	0.11	0.67	0.44	0	0.44	0.11	0.44	0.22	0.22	0.44	0.33	0.33
淋菌感染症	罹患数	6	3	6	4	5	8	3	8	5	7	6	2	63
	定点当たり	0.67	0.33	0.67	0.44	0.56	0.89	0.33	0.89	0.56	0.78	0.67	0.22	0.58
MRSA感染症	罹患数	48	33	40	28	34	49	51	39	38	38	39	40	477
	定点当たり	6.86	4.71	5.71	4.00	4.86	7.00	7.29	5.57	5.43	5.43	5.57	5.71	5.68
PRSP感染症	罹患数	2	1	0	0	1	2	1	0	0	1	1	1	10
	定点当たり	0.29	0.14	0	0	0.14	0.29	0.14	0	0	0.14	0.14	0.14	0.12
薬剤耐性緑膿菌感染症	罹患数	0	0	2	0	0	0	0	1	0	1	0	0	4
	定点当たり	0	0	0.29	0	0	0	0	0.14	0	0.14	0	0	0



H16 { 滋賀 (赤線)
 全国 (赤点線)
 H17 { 滋賀 (青線)
 全国 (青点線)

MRSA:メチシリン耐性黄色ブドウ球菌
 PRSP:ペニシリン耐性肺炎球菌